

協賛会 会員 各位

杜の葉



第180号

令和7年度東北支部協賛会第1回運営審議会を開催いたしました。本号ではその概要についてご報告いたします。また、令和7年度東北支部協賛会の会長表彰候補者推薦のお願いについて及び第37回技術交流会の開催要領を掲載いたしました。

○令和7年度 東北支部協賛会第1回運営審議会について

4月17日(木)に標記の運営審議会を開催し、以下の3議案についてご審議いただき、全ての議案についてご承認を頂きました。

【第1号議案】協賛会運営規程等の改正について

・現会員からは令和7年度の会費を徴収しないこと。また来年3月末の東北支部協賛会の事業終了により運営審議会委員の任期を改める必要があり、協賛会運営規程等の改正を提案しました。(承認を受け、現会員は令和7年度会費を納入する必要がありませんので、ご留意願います。)

【第2号議案】令和6年度業務報告・収支決算について

・令和6年度に実施した技術交流会等の主要業務の報告、監事による会計監査を受けた収支決算書について報告しました。

【第3号議案】令和7年度事業計画(案)・収支予算(案)について

・令和7年度に実施する協賛会会長表彰及び第37回技術交流会などの事業計画と収支予算について説明しました。

なお、令和7年度の協賛会運営審議会委員をお願いしている皆様は以下のとおりです。
(敬称略・順不動)

区分	氏名	所属	役職
委員長	井上 伸一	高圧ガス保安協会東北支部協賛会会長	大陽日酸(株) 東北支社長
委員	葛西 信二	(株)東酸	代表取締役社長
委員	山際 浩一	(株)大平洋ガスセンター	常務取締役工場長
委員	熊谷 孝嘉	岩手工業(株)	代表取締役社長
委員	関川 大輔	北日本酸素(株) 岩手工場	常務取締役工場長
委員	石森 秀彦	大陽日酸(株)東北支社	技術部長
委員	田沼 秀樹	(株)サイサン 産業ガス部	理事
委員	室伏 直也	東邦アセチレン(株)	上席執行役員 生産・技術本部長
委員	坂本 宏信	気仙沼酸素(株)	代表取締役社長
委員	後藤 博	(株)石油ガス工事	代表取締役
委員	菅原 善明	秋田製錬(株)	代表取締役社長
委員	遠山 進	太平熔材(株)	代表取締役
委員	飯塚 義浩	荘内ガス(株)	代表取締役
委員	岡島 博之	クアーズテック合同会社小国事業所	小国事業所長
委員	手塚 和憲	山形酸素(株)エンジニアリング部	執行役員 本部長
委員	北郷 宏幸	(株)クレハ いわき事業所 環境安全・品質保証本部	安全推進部長
委員	倉持 哲	保土谷化学工業(株) 郡山工場	パーオキサイド 製造部長

○協賛会 会長表彰候補者の推薦について (お願い)

本号に依頼文書を同封しました。
令和7年度末で協賛会の事業を終了するため最後の表彰機会となります。会員の皆様からの積極的な推薦をお願いします。
受賞により、信用・信頼は勿論ですが保安技術の承継や人材育成などにも繋がります。
社内・事業所内において保安の確保に日々貢献し他の模範となっている方なども、保安功労者や優良製造保安責任者として是非推薦して頂ければと思います。

種 類	事 業 形 態	功 績 内 容
(1) 優良事業所等	製造所、販売業者、貯蔵所所有者、特定高圧ガス消費者	高圧ガスの製造の方法、販売、貯蔵、消費等の保安上の措置が特に優れ保安管理等の職制かつ保安教育が他の模範となる事業所等
(2) 保安功労者	全ての形態の個人	高圧ガスの保安に対して学識・経験が豊富であり、高圧ガスに関し特に功労があり、かつ、関係団体等における保安活動に尽力する等他の模範となる個人
(3) 優良製造保安責任者等	高圧ガス製造保安責任者、販売主任者、業務主任者、取扱主任者	高圧ガスについて経験が深く保安の確保と安全指導に模範的かつ業績が顕著な責任者等
(4) 優良輸送事業所等	輸送事業所、防災事業所	高圧ガスの輸送車両の管理・方法等の保安上の措置が特に優れ他の模範となる輸送事業所、又災害の防止に的確に措置し公共の安全に多大な功績をあげた防災事業所(自らの原因等は除く)

○高圧ガス保安協会東北支部協賛会 第37回技術交流会

第37回技術交流会を下記により開催しますので、ご予約いただきますようお願いいたします。
最後の技術交流会になりますので、奮ってご参加ください。
詳細は、後日改めてご案内いたします。

記

日時：令和7年7月7日(月) 13:30～18:00

会場：ホテルメトロポリタン仙台

プログラム

第一部 協賛会会長表彰 表彰式

第二部 講演「最近の高圧ガス事故の傾向と事故事例について」

記念講演①「防災・減災」 } 2テーマによる講演を予定
②「AI」

第三部 情報交流会・受賞祝賀会(協賛会終了式)

事務局から

今朝、新聞記事の「物価高で巣ごもりGWか」という見出しが目にとまりました。

巣ごもりという文字からはコロナ禍を連想してしましますが、民間の調査会社によると長引く物価高の影響で今年のGWは「自宅で過ごす」との回答割合が昨年より増えたそうです。

感染リスクを避けるため外食・旅行・買物を控えたあの当時、長時間でも自宅で快適に過ごせたという経験も影響しているように思います。

ネット通販、フードデリバリー、オンライン書籍、動画・音楽配信など、巣ごもり需要に対応できる様々なサービス

が享受できる今、少しでも支出を抑えるべく巣ごもりGWに向うのは当然なのかもしれません。

さて、皆さんはどのようにGWを過ごす予定でしょうか。新年度が始まりもうすぐ1ヶ月。忙しさをただしさで知らないうちに疲れやストレスが蓄積されているかもしれません。たまには身体を休めるための巣ごもりGWも良いのではないのでしょうか。



高圧ガス保安協会東北支部

TEL : 022-268-7501

Fax : 022-211-0154

E-mail : tohoku@khk.or.jp